

# 医療安全トピックス TOPICS

Vol.170

井上 純子

公益財団法人日本医療機能評価機構  
医療事故防止事業部 副部長

## 医療安全情報 No.215 「食事中止時のインスリン投与による低血糖」について

今号では、2024年10月、公益財団法人日本医療機能評価機構が公表した「食事中止時のインスリン投与による低血糖（医療安全情報 No.215）」の内容を中心に紹介します。

公益財団法人日本医療機能評価機構では、医療事故情報収集等事業（以下：本事業）を運営しており、本事業を通じて医療安全推進をはかる医療安全情報や報告書を作成・公表しています。

### ●食事・経管栄養と

#### インスリン投与に関連した事例

第60回報告書（2020年3月公表）の分析テーマでは、「食事・経管栄養とインスリン投与に関連した事例」<sup>★1</sup>について取り上げました。入院中、治療や

【図表1】事例の分類

分類	件数
経管栄養に関連した事例	7
食事に関連した事例	9
合計	16

（第60回報告書，p.45，図表Ⅲ-2-25を改変。）

【図表2】経管栄養に関連した事例の分類

事例の分類	件数
経管栄養の中止・終了後にインスリンの持続静注を継続した	2
インスリン投与中や投与後に経管栄養を予定どおり実施しなかった	4
インスリン投与後に経管栄養が中止になったが、インスリンを投与したことを伝達しなかった	1
合計	7

（第60回報告書，p.52，図表Ⅲ-2-37を改変。）

★1 [https://www.med-safe.jp/pdf/report\\_2019\\_4\\_T002.pdf](https://www.med-safe.jp/pdf/report_2019_4_T002.pdf)

検査のため食事が中止・延期になることがあります。その際、インスリン療法を受けている患者は、状態やインスリンの種類に応じてインスリンの投与を中止するなどの対応が必要になります。

本事業において、2015年1月～2019年12月の期間に、経管栄養の終了後もインスリンの持続静注を継続した事例や、食事が中止になった際に食事摂取時と同じ量のインスリンを投与した事例などが16件報告されました（図表1）。いずれも患者は、低血糖を来し治療が必要になっています。当事者職種と職種経験年数の集計では、4年未満の看護師が多く報告されていました。

### ●経管栄養に関連した事例

経管栄養に関連した事例7件を分類したところ、インスリン投与中や投与後に経管栄養を予定どおり実施しなかった事例が4件と多く、この中には、インスリン投与後に経管栄養を開始しなかった事例や、投与を開始したが、伝え漏れなどにより患者に投与されていなかった事例がありました（図表2）。この内容を基に、2021年5月に医療安全情報No.174「インスリン投与後の経腸栄養剤の未注入」<sup>★2</sup>を提供し、

★2 [https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe\\_174.pdf](https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_174.pdf)